

Thematic Exhibition

Living with Horses During the Kofun Period

Nagano Prefecture Through the Eyes of Immigrants from the Korean Peninsula

特集

渡来人が 見た長野

——馬と歩んだ古墳時代——

○轡 Horse Bit

長野県茅野市 抱瘡神塚古墳出土

古墳時代・6世紀

五味健藏氏寄贈 J-5999

* 作品名称の前に付した○は重要美術品

2026年

9月29日(火)～12月20日(日)

東京国立博物館 平成館企画展示室

2026年は午年です。日本列島に馬が現れたのは古墳時代で、朝鮮半島から伝来しました。なかでも長野県(科野)は、5世紀以降に東山道の原型ができ、馬を生産する牧が各地でつくられました。その馬の生産にはヤマト王権も積極的にかわり、朝鮮半島から渡来した人々が指導にあたりました。また、馬の生産と連動して、装飾豊かな馬装のほか実用的な馬装も広まり、多様な馬具が古墳に副葬されました。さらに鉄刀や鉄鏃などで武装し、馬に乗る武人は東国舍人騎兵として活躍し、中央の政変で大きな存在感を示したことで知られています。

本特集では、近年修理が完了した長野県の古墳出土品を中心に紹介します。なかでも本年は、重要な鈴付馬具が出土した金鑑山古墳発掘調査報告書刊行100周年という記念すべき年です。金鑑山古墳出土品はじめ、合計18件もの重要美術品を一堂に披露することで、長野県の古墳の魅力を再発見する機会になれば幸いです。

2026 is the Year of the Horse. Horses were brought to the Japanese archipelago from the Korean Peninsula during the Kofun period (ca. 3rd–7th century). Following this, modern-day Nagano Prefecture flourished as a horse-breeding hub after a major traveling route opened in the 5th century. Horse farms were established throughout the region, where people who migrated from the Korean Peninsula provided guidance on horse breeding.

As horse breeding became widely practiced, a wide range of horse-riding equipment was buried as grave goods in tomb mounds. Moreover, warriors on horseback came to demonstrate substantial presence in political upheavals of the central government.

This thematic exhibition introduces artifacts excavated from tomb mounds in Nagano Prefecture. By bringing together a total of eighteen little-known Important Art Objects, including artifacts excavated from the Kingaisan Tumulus, the exhibition aims to offer an opportunity to rediscover the appeal of tomb mounds in Nagano Prefecture.

疱瘡神塚古墳

Hōsōgamizuka Tumulus

疱瘡神塚古墳は明治 43 年（1910）に発掘され、諏訪地域の横穴式石室をもつ円墳として最初期の例です。石室の平面がT字形をなす点は独特で、子持高杯や馬具など豊富な副葬品が出土しました。この付近には、古墳時代の陸上交通路（古東山道）が通っていました。



子持高杯
Footed Stand with Small Bowls
長野県茅野市 疱瘡神塚古墳出土
古墳時代・6 世紀 五味健藏氏寄贈 J-6010



剣菱形杏葉
Sword-Shaped Horse Harness Ornament (Gyōyō)
長野県茅野市 疱瘡神塚古墳出土
古墳時代・6 世紀 五味健藏氏寄贈 J-6000

馬生産と馬具

Horse Breeding and Horse-Riding Equipment



輪燈
Stirrups
長野県諏訪市 小丸山古墳出土
古墳時代・6 世紀 J-9103



素環鏡板付轡
Horse Bit with Ring Cheek Plates
長野市若穂保科上和田出土
古墳時代・6 世紀 J-8015

古東山道とヤマト王権

Ancient Tōsandō Route and the Yamato Kingdom

5 世紀後半、古東山道が馬の普及に連動して整備され、近畿地方から関東・東北地方へと抜ける内陸ルートが確立しました。ルート上の難所では滑石製の祭器を用い、旅の安全を祈りました。長野県では馬を生産する牧が数多くつくられ、その馬生産の伝統は現在希少な日本の在来馬である木曾馬に引き継がれています。



子持勾玉
Comma-Shaped Bead (Magatama) with Smaller Beads
長野県茅野市 石田屋敷遺跡出土
古墳時代・6 世紀 石田志づゑ氏寄贈 J-36871

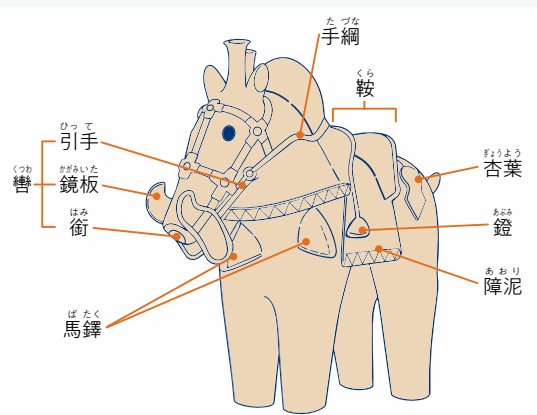


双孔円板
Two-Holed Plates
長野県北佐久郡蓼科山麓出土
古墳時代・6 世紀 徳川頼貞氏寄贈 J-19188 ~ 19190



木曾馬

馬生産には朝鮮半島からの渡来人による指導も不可欠でした。馬に乗るためには轡や燈などの馬具が必要になるため、長野県では馬具が副葬された古墳が多く見つっています。馬は輸送以外にも軍事や農耕、首長の威信を高めるのにも役立ちました。



馬の装具

金鑑山古墳

Kingaisan Tumulus

円墳である金鑑山古墳は、土と石で墳丘がつくられた土石混合墳で、積石塚の影響が想定されます。古墳の中心には、合掌形石室という埋葬施設があります。これらの古墳の特徴は朝鮮半島に由来し、被葬者は渡来人もしくはその子孫なのかもしれません。鈴が付いた副葬品が多いのもこの古墳の特徴です。



三環鈴
Ring with Three Bells
長野県中野市 金鑑山古墳出土
古墳時代・5 世紀 J-10218



五鈴鏡
Mirror with Five Bells
長野県中野市 金鑑山古墳出土
古墳時代・5 世紀 J-10213

東国舍人騎兵

Mounted Royal Guards in the Eastern Provinces (“Tōgoku Toneri Cavalry”)

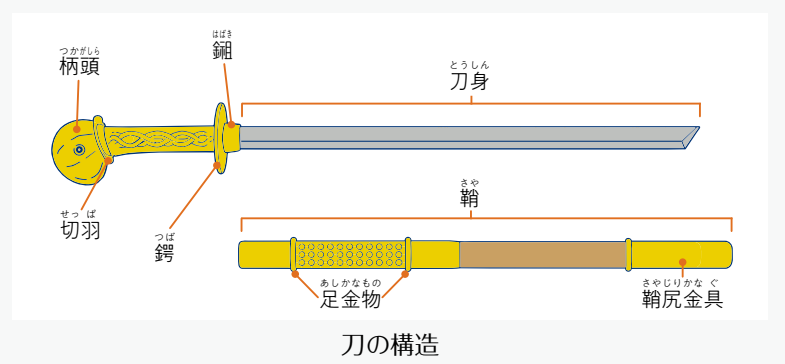
古墳時代には地方首長（豪族）の子弟が舍人として中央に仕え、王（大王）や王族などの護衛や雑務にあたりました。当時の東日本では馬生産が盛んだったことから、東国からの舍人は馬上で武器をふるう舍人騎兵として活躍しました。



単龍環頭柄頭
Ring Pommel with a Lone Dragon
長野県飯田市川路出土
古墳時代・6 ~ 7 世紀 徳川頼貞氏寄贈 J-10501



八窓鏢
Sword Guard with Eight Openings
長野県松川町 屋敷添古墳出土
古墳時代・7 世紀 宮澤瀬平氏寄贈 J-12555



刀の構造

蕨手刀と馬

Swords with Curled Pommels (Warabite) and Horses

飛鳥時代（古墳時代終末期）から奈良時代にかけて、馬上で戦うのに有効な武器として蕨手刀が作られました。古東山道が通る長野県東部では、蕨手刀が古くから製作され、その後、北海道から東北地方の蝦夷を中心に、各地に広まったと考えられています。



蕨手刀
Sword with a Curled Pommel (Warabite)
長野県東御市祢津出土
古墳 (飛鳥) ~ 奈良時代・7 ~ 8 世紀 柳橋萬之助氏寄贈 J-602

森本六爾と金鎧山古墳の報告書

金鎧山古墳は大正13年(1924)に遺物が出土し、その翌年から、新進気鋭の考古学者であった森本六爾(1903～36)によって古墳や出土品の調査が行われました。大正15年(1926)に、当時23歳の森本がまと

めた『金鎧山古墳の研究』は、いまでも色あせることのない精緻な報告書です。今年はその報告書刊行からちょうど100年になります。

森本は、当時東京高等師範学校長であった三宅米吉(のちの帝室博物館総長)のもとに出入りし、弥生時代は農耕社会である

ことを提唱するなど、弥生時代から古墳時代を精力的に研究しました。

在野の立場から研究を貫き通した森本の姿は、松本清張の短編小説『断碑』の主人公である木村卓治のモデルになり、東京帝室博物館(現東京国立博物館)も舞台の一つとなっています。

特集で紹介している遺跡の位置(長野県)



出典：国土地理院「地理院地図 Vector」を加工して作成